

手術説明書

乳頭縮小術/乳輪縮小術/モントゴメリー腺除去術

この説明書は乳頭縮小術/乳輪縮小術/モントゴメリー腺除去術についてその目的・内容・危険性などを説明するものです。ご不明点は何でもおたずね下さい。

☑目的と内容

乳頭縮小術/乳輪縮小術: 乳頭/乳輪の余剰部分を切除し、縫合致します。

デザイン決定後に局所麻酔を注入し、無痛状態が得られてから処置に入ります。電気メスにて

丁寧に止血を行い、縫合を行います。抜糸は不要ですが、希望者は10-14日後に行います。

処置の所要時間は切除量、手術範囲、出血量などで差が生じますが1時間前後が目安です。

乳頭縮小では乳管温存法を用います。乳輪縮小では外側法か内側法かを御本人に決定して頂きます。

モントゴメリー腺除去術: モントゴメリー腺を切除し、滑らかな乳輪を実現します。

切除希望のモントゴメリー腺をご指定いただき、局所麻酔で無痛状態が得られてから処置に入ります。

切開・縫合を行います。抜糸は不要です。処置の所要時間は1箇所10分前後が目安です。

☑危険性

再出血・血腫・感染・創部離開・アレルギー・皮膚壊死など

いずれも発生頻度は極めて低いですが、年齢や併存疾患の有無、生活状況などにより個人差があります。

☑手術を行った後の経過と経過中に起こり得る問題

1) 痛み・腫れ・ひきつれ

ほぼ100%生じる症状です。術後1ヶ月で概ね、3ヶ月で自覚症状はなくなる方がほとんどですが、厳密には6か月から1年かけて創傷治癒の過程となります事をご承知下さい。

2) かゆみ

傷が治る際に生じます。

ワセリンの塗布をお勧めしております。また、下着はお肌に合ったものをご使用下さい。

3) 硬結

部分的に、しこりの様に触れる事がございますが経過と共に柔らかく落ち着いていきます。

4) 左右差

元々左右差は多かれ少なかれございます。元の左右差を目立たなくする様に施術を致しますが、

生まれつきの差を完全に消失させる事は不可能ですのでご注意下さい。乳頭・乳輪いずれかのみでの施術をご選択される場合、ご選択されなかった部分の影響を強く受けることがあります。

5) 乾燥

ワセリンによる保湿を推奨しております。時間経過で気にならなくなる方がほとんどです。

6) 傷跡・色素沈着

乳輪・乳頭は切開縫合した跡が目立ちやすく、白く抜けて見える事が多いです。また過去に喫煙歴のある方も含め、喫煙や副流煙を吸われる方は通常の方より傷の治りが遅く、強く跡が残りやすいです。傷跡対策にはワセリンによる保湿が大変有効ですが、1年経過後も傷跡が気になる場合はアートメイクでカバーしていただくのが一般的な流れとなります。ご希望の方には、傷跡に見識のある医師によるアートメイクのクリニックをご紹介します。

☑注意事項

下記にあてはまる方は事前にお申し出頂いております。休薬が必要なものに関しましては、手術日までにかかりつけ医に調整をお願いして下さい。当日の体調によっては手術を中止と致します。

- 1) 妊娠・授乳中の方、妊娠の可能性がある
- 2) これまで歯科の麻酔や局所麻酔でアレルギー症状があった
- 3) ヨード液の消毒でアレルギー症状があった
- 4) 現在治療中、服薬中の疾患がある
- 5) 抗凝固剤、抗血小板薬（ワーファリン、アスピリン、イグザレクト、バイアスピリン、プラビックス、エパデール等）を服用している
- 6) 心臓病、糖尿病、便秘症、緑内障、脳梗塞、人工透析、高血圧症で治療、服用している

☑手術後の生活について（下記は参考です。その他個別にも配慮致しますのでご相談下さい。）

シャワー：患部以外は当日より可能。患部は24時間後より可能。

入浴：1ヶ月控えて頂く事を推奨。

サウナ：1ヶ月禁止。

飲酒・喫煙：1ヶ月控えて頂く事を推奨。

サプリメント：1ヶ月禁止。

運動：1ヶ月控えて頂く事を推奨。

ホームケア：ワセリンによる保湿を行なっていただきます。

☑偶発症発生時の対応

アナフィラキシーショック等、偶発症が発生した際には最善の処置を行います。医師が救急搬送を要すると判断した場合には直ちに救急要請を行います。なお、他院で生じた医療費は患者様のご負担となります。

☑同意撤回

一度同意書を提出しても、手術が開始されるまでは手術をとりやめる事ができます。とりやめる場合にはご連絡をお願い致します。ご予約のキャンセルに関するルールはキャンセルポリシーに準じます。

キャンセル可能期間中のキャンセル：無料受付

キャンセル可能期間を過ぎてのキャンセル：施術+診察料の100%の料金をご請求させていただきます。

※天災やその他、証明書が発行されるご事情によるキャンセルである場合、料金は頂きません。